

北海道通信

平成21年
4月27日(月曜日)

土木学会道支部「技術賞」

の席上、表彰が行われた。
国道三三三号の新佐呂間

また、札幌市の北郷通と
線橋は八径間連続鋼・P C
混合箱桁形式の採用、支庄
接合方式の採用、補強土壁

(社)土木学会北海道支部が選考する二十年度技術賞に、「安全と環境保全の技術を駆使した新佐呂間トンネルの建設」「北郷通と線橋」国内初となる支庄接合方式による鋼・P C箱桁の剛結」の二件が決まり、二十四日の通常総会

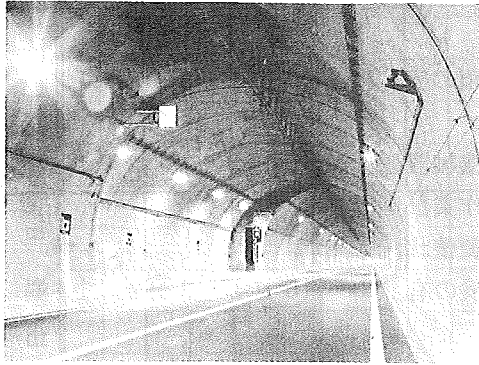
トンネルは落石・岩盤崩落危険個所の回避などを目的とする佐呂間防災事業の一環で整備。連続ベルトコンベア方式によるトンネルズリの坑外搬出や、伸縮風管と分岐風管を用いた粉じん対策システムの採用、砂ろ過システムを利用した濁水処理の採用などが評価された。

工法の採用、周辺生活環境への配慮などが認められ受賞した。

他の二十年度授賞者はつぎのとおり。 敬称略

- ▽北海道支部功労賞 時川和夫、太田利隆、勝俣征也
- ▽北海道支部奨励賞 三好達夫(土木研究所寒地土木研究所)、吉川泰弘(同)、学生部門略
- ▽北海道支部地域活動賞 エルフィンロードクラブ

新佐呂間トンネル



北郷通と線橋

